



パートナーシップ

2018年度 共同プレス発表会

〈金賞〉受賞作品の発表

余白さん(男性・89才・静岡県)の「亡き母への手紙」

「白い目薬」

母さん、冥界(そこ)からオレが見えますか。

オレ、来年は遂に九十の大台。母さんの享年を遥かにこえます。

丈夫に育ててくれてありがとう。

母さんとの思い出はキリがないけど 中でもとっておきはこのエピソード。

小四の頃、歳の瀬の路地裏でメンコ遊びに興じていると

一陣の突風に襲われて目にゴミが。

「痛ッ！」慌てて家の中へ駆けこむと

母さんが「ヤッ大変」と赤子の弟を脇へ置き、左の二の腕でオレを支え、
右手で乳房を掴むとオレの目めがけて勢いよく絞りだす集中放乳？作戦。

その一条の白い目薬はすっかりゴミを洗い流してくれたっけ。

八十年後の今も母さんの肌の温もりと共に鮮やかに覚えています。

母さん、オレが母さんの許へいける日は遠くない。

五十年ぶりに会える母さんはどんな迎え方をしてくれるだろう。

母さんはお茶目だからこんなこと言いそう。

「アレ、えらいお年寄り。もしかしてわたしの父ちゃん？」

そしたらこう返してやろう。「三男静雄只今母上の御許へ参上」。